

「たくましい“かごしまっ子”育成推進プラン」 を活用した体力向上の推進

「平成 29 年度体力・運動能力調査」～県との比較（大島地区）

種目 学年	握力		上体起こし		長座体前屈		反復横とび		20mシャトルラン		50m走		立ち幅とび		ボール投げ	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
小2	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	△	△	◎	◎	○	○
小4	○	○	○	○	◎	○	○	△	○	△	△	△	○	○	○	○
小5	○	○	○	◎	○	○	◎	◎	○	◎	○	△	○	◎	○	○
小6	◎	◎	○	◎	◎	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	◎
中1	○	◎	△	◎	△	○	◎	◎	○	○	△	△	△	◎	△	◎
中2	○	◎	△	◎	○	△	◎	◎	◎	○	○	▲	○	○	△	○

【Tスコア】 ◎52以上 ○50以上52未満 △50未満48以上 ▲48以下

※ Tスコアは集団の平均値を50とします。◎, ○は県平均を上回っている種目です。

○ 全体的にみると、**81.3%**（昨年度比**8.4ポイントの上昇**）の種目で県平均を上回っています。また、小5と小6の男子は、全ての種目で県平均を上回っています。種目別にみると、**握力（筋力）、反復横跳び（敏捷性）、立ち幅跳び（瞬発力・跳躍能力）がよく、50m走（スピード・走能力）に課題**があります。

走能力の向上を図るには、陸上運動・競技だけでなく、球技でもダッシュを意図的に取り入れるなど、「速く走る」機会を授業や遊びの中で増やしましょう。

鹿児島県では、学校、家庭、地域が連携し、運動好きな子どもを育てるとともに、子どもたちの基礎的な体力を高め、協調性や粘り強さなどを培い、「心豊かでたくましい“かごしまっ子”」の育成のために、各学校で子どもたちの**体力・運動能力の状況に応じた推進プラン**を作成して年間を通して継続した特色ある運動に取り組んでいます。

（例）・一校一運動（ランニング、長縄跳び、一輪車 等）

・一家庭一運動（風呂上がりのストレッチ、親子でキャッチボール 等）

・体育授業（主体的に運動に取り組む児童生徒を育てる授業の工夫改善 等）

・体育的学校行事（運動会、体育大会、ロードレース大会、クラスマッチ 等）

奄美市立朝日小学校の取組

朝日小は、平成28・29年度の2年間、「たくましい“かごしまっ子”」育成推進校の指定を受けて研究を重ね、10月に公開しました。

主な研究として、体育の授業において、**主体的に運動に取り組む子どもを育てるために**、「(1) 願い・目標を持つ」「(2) 課題を明らかにする」「(3) 見通しを持つ」「(4) 練習・学び合いを工夫する」「(5) 学びのよさを実感する」の5点が連続することが大切だと考え、この5点に児童子どもが意欲的に取り組めるように、技の構造や系統の分析、地域スポーツ人材の活用、場の設定などを工夫しました。その結果、体育の授業を楽しく感じる子どもが増えるなどの成果が現れました。

詳しい研究内容は、大島教育事務所のホームページ内に掲載していますので御覧ください。

